

# 図書館部報

岡崎市現職研修委員会  
学校図書館部  
令和3年5月28日  
No. 1

## 「深い学び」を支える学校図書館運営を

岡崎市現職研修委員会学校図書館部  
部長 美合小学校長 大西裕子

本屋巡りがわりと好きです。最近岡崎の大手スーパー3階に新装オープンした書店、名古屋駅タワーゲート8階の大きな書店など機会があればふらっと巡り、今どんな本が読まれているのかそのランキングを見たり、平積みされている本を見たり、ポップがついて、店員お勧めの本を確認したりしています。今どきはネットで調べて注文・すぐに到着とか、電子書籍など、便利だと思うのですが、自分はアナログな方法を楽しんでいます。

図書館主任をしていた若かりし頃、名古屋の本の卸し元とでもいうべき場所に、希望する主任たちで本の展示会を見に行ける機会がありました。その当時は出張と大手を振って名古屋まで行けるのが楽しみで、結構な回数参加していました。倉庫のような広く大きな場所に新作や全集、シリーズ本がずらっと並び、手に取れました。この本は子供が喜んで読みそうかな、この全集は先生方が学習に生かせそうかな等、時間がたつのを忘れて様々な本に見入っていました。すぐぼろぼろになる漫画日本歴史や「はだしのゲン」、「ミック」や「ウォーリーを探せ」は修理して、もう少しもたせようか…考えを巡らしていました。

さて、令和3年度が始まり、どの学校でも図書館主任さんは、どんな本を入れようか、悩まれている頃かと思います。先生や子供らに入れてほしい本のアンケートをとったり、カタログを見たり、司書教諭に相談したり、SLBAで効率よく頼んだり、その方法は様々でしょう。今年度の図書館運営を考えたり選書したりする際に、頭の片隅においてほしいなと思うことがあります。それは、学校図書館の果たすべき3つの機能についてです。これは、先生方に配られる「教員研修の手引き」、学校図書館教育のページにも明記されています。



- 一つ目は、子供たちの読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能
- 二つ目は、授業の内容を豊かにしてその理解を深める「学習センター」としての機能
- 三つ目は、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能

4月23日の「子ども読書の日」を受けて、毎年4月下旬に、教育新聞で「学校図書館特集」が組まれます。今年度の特集には、「深い学びへ 重要性高まる学校図書館」「学校図書館とICT活用」などの見出しが躍っています。学校図書館の3つの機能を物語っていると感じました。読書習慣の形成に向けて、小学校期は、多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書、中学校期は、内容に共感したり将来を考えたりする読書等の推進が重要との記述もありました。各学校で、新学習指導要領を踏まえ、深い学びを実現すべく、様々な工夫で、学校図書館運営が進められることを期待します。

## 令和3年度 学校図書館部 研究主題・重点目標

# 豊かな心情を培い、主体的に学ぶ力を育てる



### (1) 「読書の楽しさを知り、進んで読む態度を育てる」

- ・読書に対する興味を誘発する手だてを工夫し、読書意欲の高揚を図る。
- ・読書の機会を意図的に設けて、その習慣化を図る。
- ・読書を通して、自己を向上させる取り組みを推進する。

### (2) 「情報・メディアを活用する能力と自ら学ぶ意欲を育てる」

- ・読書・メディアを正しく活用する方法を身に付けさせるために、年間指導計画に基づき、学校図書館の利用指導を進める。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、情報・メディアを積極的に活用した教育活動の展開を図る。

## 学校の図書活動

### 「おもしろさをみんなに伝える」

常磐南小学校では、多くの児童が読書を面白いと感じ、好きになってくれるように、ブックときなん（図書委員会）が中心となって活動しています。図書室の掲示板におすすめる本の紹介を掲示したり、6月の読書集会で本に関するクイズを出したりしています。図書委員のおすすめる本は、いつも借りられています。また、毎週金曜日の朝には、学区のボランティアの方が、読み聞かせを行ってくださっています。

（常磐南小 佐藤昌範）



## 図書館部紹介

部長	大西 裕子	（美合小）
	清松 治子	（矢作東小）
指導員	近藤 秀子	（六ツ美北部小）
世話係	松本 友子	（大樹寺小）
	福永 えりな	（根石小）
	奥出 礼	（美合小）
	白形 奈穂	（北 中）
	神尾 有香	（東海中）
	緒方 涼子	（竜海中）

☆一年間よろしくお願ひします。

## 2021年 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介

### <小学校低学年>

「あなふさぎのジグモンタ」 作：とみなが まい 絵：たかお ゆうこ （ひさかたチャイルド）  
 「そのときが くるくる」 作：すず きみえ 絵：くすはら 順子 （文研出版）  
 「みずをくむプリンセス」 文：スーザン・ヴァーデ 絵：ピーター・H・レイノルズ （さ・え・ら書房）

「どこからきたの？おべんとう」 作・絵：鈴木 まもる （金の星社）

### <小学校中学年>

「わたしのカメムシずかん やっかいものが宝ものになった話」 文：鈴木 海花 絵：はた こうしろう （福音館書店）

「ゆりの木荘の子どもたち」 作：富安 陽子 絵：佐竹 美保 （講談社）

「ぼくのあいぼうはカモノハシ」 作：ミヒヤエル・エングラール 訳：はたさわ ゆうこ 絵：杉原 知子 （徳間書店）

「カラスのいいぶん 人と生きることをえらんだ鳥」 著：嶋田 泰子 絵：岡本 順 （童心社）

### <小学校高学年>

「エカシの森と子馬のポンコ」 作：加藤 多一 絵：大野 八生 （ポプラ社）

「サンドイッチクラブ」 作：長江 優子 （岩波書店）

「おいで、アラスカ！」 作：アンナ・ウォルツ 訳：野坂 悦子 （フレーベル館）

「オランウータンに会いたい」 著：久世 濃子 （あかね書房）

### <中学校>

「with you」 作：濱野 京子 （くもん出版）

「アーニヤは、きっと来る」 作：マイケル・モーパーゴ 訳：佐藤 見果夢 （評論社）

「牧野富太郎 日本植物学の父」 文：清水 洋美 絵：里見 和彦 （汐文社）